

在宅ケアにおける COVID-19 - 多職種で取り組む事例検討会 -

日時：2021年8月19日(木)
18:30～20:00 参加無料

Web 開催：zoomによる
グループワーク

新型コロナウイルス感染症は、ついに第5波が拡大中です。地域ケアに関わる自分たちも新型コロナウイルス感染症に関して様々な経験をしてきましたが、その中でも、連携がうまくいかず困ったり、感染が恐ろしかったりしたことがあったのではないのでしょうか。これからも新型コロナウイルスがある日常で業務をしなければなりません。

今回は事例を通じて地域の多職種がどのように行動すればよいのかグループワークで学びます。日本在宅医療連合学会で作成されたコンテンツを使い、新型コロナウイルス疑い例の対応、PCR陽性となったときの対応、濃厚接触者の対応、自宅で療養しなければならないときの対応などグループワークと解説を交えてワークショップを実施します。

プログラム(予定)

18:30 あいさつ・趣旨説明
18:35 事例検討
19:35 検討結果シェア、解説
19:50 質疑応答
20:00 閉会

今回取り上げる事例

A 在宅患者が発熱し、PCR検査を受けた場合の初期対応
B 在宅患者、新型コロナPCR陽性判明後の対応
D 嚥下訓練中に濃厚接触者となった訪問看護ステーションの言語聴覚士の事例
H PCR陽性だが、最期を家で過ごしたいと希望する末期がんの方
J 感染情報が伝わらず混乱をきたした高齢夫婦の事例



ファシリテーター

日本在宅医療連合学会コロナワーキンググループ
医療法人財団老蘇会 静明館診療所 大友 宣 先生

対象：在宅ケアに関する専門職、患者・家族、市民

申込み：右記 QR コードよりお申し込み下さい

2021年8月17日(火) 締切

問合せ：info@zaitaku-care.info



主催：西区在宅ケア連絡会・札幌市医師会西区支部